



感謝

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和4年2月8日 第13号 文責 梶原 圭一



新型コロナウイルスから坂っ子を守り抜く!

新型コロナウイルス感染症との戦いが始まってから、まもなく2年が経とうとしています。感染の状況によって教育活動に制限を加えなければならず、子どもたちの安心・安全な学校生活を守るために、全職員で知恵を絞り、最善の方法を模索する毎日が続いています。

現在も「オミクロン株」による感染の急拡大により、熊本県も「まん延防止等重点措置」が適用されています。県内の小中学校でも児童生徒の感染が広がり、学級や学校を閉鎖しなければならないところも多数報告されています。

本校では、『新型コロナウイルスから坂っ子を守りながら、子どもも職員も笑顔で学校生活を送ろう!』を合い言葉に、日々の感染症対策を徹底しています。特に、本校の定める「坂っ子の新しい生活様式」に基づきながら、学校で出来ることを一つ一つ実践しているところです。

子どもたちの登校直後の検温も再開し、記録を取るようにしています。常時換気しているため教室は寒いのですが、子どもたちは一生懸命学習に取り組んでくれています。

保護者や地域の方々も楽しみにされていた「坂っ子フェスティバル」については、開催日や方法を変更する文書をお配りしました。子どもたちの学習に取り組んできた成果を披露しようと準備を進めてきましたが、現状と学年末や卒業式等の教育活動への影響を熟慮し、やむなく変更させていただきました。

現在の感染拡大がいつ収まるのか先が見通せませんが、新型コロナウイルスから坂瀬川小の子どもたちを守り抜くため、学校と家庭、そして地域の皆さまと力を合わせながら、この難局を乗り切っていきたいと思えます。今後とも変わらぬご支援並びにご協力を、よろしく願いいたします。

学校情報化優良校に認定されました

日本教育工学協会(JAET)から、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校として、本校が学校情報化優良校として認定されました。

本校は、苓北町教育委員会のご支援のもと、情報教育担当者を中心としながら、児童に1台ずつ配備されたタブレットパソコンをはじめ、様々な情報機器を効果的に活用した授業の進め方を職員同士で学び合ってきました。また、昨年度から校務の情報化にも力を入れています。

まだまだ取組を始めたばかりではありますが、今回の認定を励みにし、先進校の実践を参考にしながら、さらに学校における情報化を進めていきたいと思えます。



坂っ子の新しい生活様式 (11月~3月版)

登校前	<ul style="list-style-type: none"> ●検温して、健康観察カードに記録します。 ●マスクをつけて、間を空けて登校します。
登校後	<ul style="list-style-type: none"> ●健康観察カードを出して、教室へ入ります。 ●検温をしない人は、職員まで検温します。 ●ランドセルや荷物を置いたら、石けんて手洗いをします。
授業	<ul style="list-style-type: none"> ●移動するときはおしゃべりをせずに、間をあけて歩きます。 ●教室に入る前には、アルコール消毒をします。 ●対面を空けて換気します。 ●寒いときは、衣服で調整をします。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ●ていねいに石けんて手洗いをし、アルコール消毒をします。 ●食べる前までは、マスクをつけておきます。 ●おしゃべりをせずに前を向いて、しっかりかんで食べます。 ●おかわりは、先生にお願いします。 ●飲みがきのすずきは、下の方ですずかにはき出します。
昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ●遊具やボールなどを使う時は、事前に石けんて手洗いをします。 ●遊び終わったら、ていねいに石けんて手洗いをします。
そうじ	<ul style="list-style-type: none"> ●無音そうじをします。 ●ぞうきんを洗うときは、一人ずつ洗います。 ●終わったら、石けんて手洗いをします。
下校時	<ul style="list-style-type: none"> ●マスクをつけて、間をあけて下校します。 ●家に着いたら、手洗いうがいをします。
<p>マスク着用・手洗いうがい 換気で感染症を防ごう!</p>	



感謝の心を育む給食記念週間

1月24日～30日の1週間は、給食記念週間でした。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」とされ、全国各地で様々な行事が行われます。

本校では、「給食について関心を深め、感謝の気持ちをもつことができるようにする。」という**学びに向かう力**や、「食事のマナーを守り、楽しく食べることができるようにする。」という**考動力**の育成に向けて、様々な取組を計画しました。

給食記念週間に関連して各学年で取り組んだ作品については、校内で紹介した後に苓北町役場、そして坂瀬川公民館に掲示していただきました。また、保健・給食委員会が中心となって「豆つかみ大会」や児童集会の発表も行いました。さらに、栄養教諭の先生に来校していただき、苓北町共同調理場でどのように給食が作られているかや、苓北町の食材を生かした献立作りに取り組まれていることなどを紹介していただきました。毎日のメニューだけでなく、子どもたちの給食に対する見方や考え方も変わったように感じます。

これらの取組を通して、改めて子どもたち一人一人の心に、**ふるさとへの感謝の気持ち**が広がったようでした。苦手な食材もあるようですが、本校の子どもたちは、毎日美味しく給食をいただいています。



【児童の作品より】



【豆つかみ大会の様子】



【保健・給食委員会の発表】



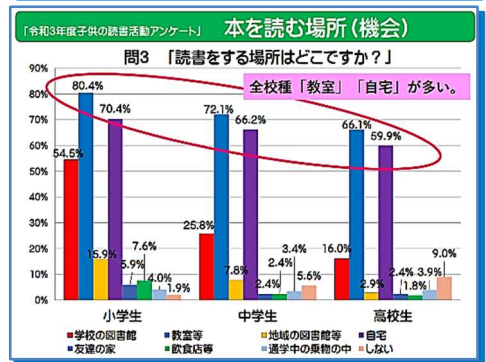
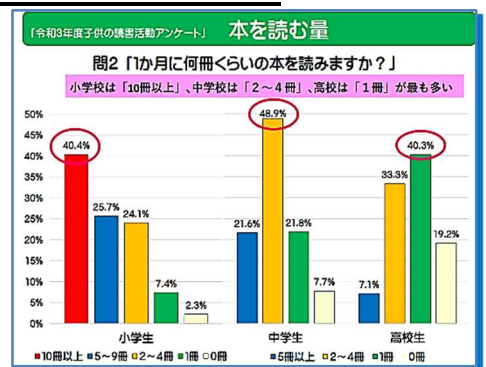
【給食記念集会の様子】

1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？

「熊本県子供の読書活動推進計画（第四次肥後っ子いきいき読書プラン）」に係る令和3年度子供の読書活動アンケート調査の結果が公表されました。（右図）この結果を見ると、「1ヶ月に何冊くらい本を読みますか」の問いに対して、小学生は10冊以上と回答している子が40%以上でした。また、「読書をする場所はどこですか」の問いには、「教室」「自宅」と回答した子が多数いることが分かります。

本校でも、本に触れる機会を増やすことを目的に、各学年で図書室で本を選ぶ時間を設けたり、朝自習の時間を使った読書の時間を作ったりしています。図書室には、子どもたちが楽しく読めるような新しい図書も購入し、司書の先生に整備していただいています。また、毎月支援ボランティアの方々に学級図書の入替えを行っていただいています。「たんぽぽホール」の方や担任による読み聞かせを行い、子どもたちの本に対する興味を高める取組も継続しています。

月初めの週末に親子読書の取組も行い、保護者の方々にもご協力いただいています。本校の子どもたちの実態を考えると、日頃から主体的に家庭でも本を読む時間を作る力を高めていく必要があると感じています。今後ともご協力の程、よろしくお願いたします。



【「熊本県子供の読書活動推進計画（第四次肥後っ子いきいき読書プラン）」に係るアンケート調査結果より】

<今後の主な予定>

2月10日(木)	3学期人権集会	3月4日(金)	送別遠足
2月22日(火)	坂っ子フェスティバル	3月23日(水)	修了式,大掃除,卒業式準備
2月24日(木)	第2回児童総会	3月24日(木)	卒業証書授与式
3月3日(木)	地区児童会	3月28日(月)	退任式